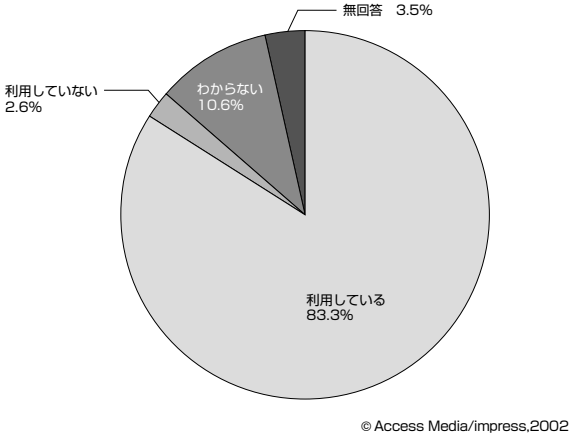
第2章 パソコン利用者

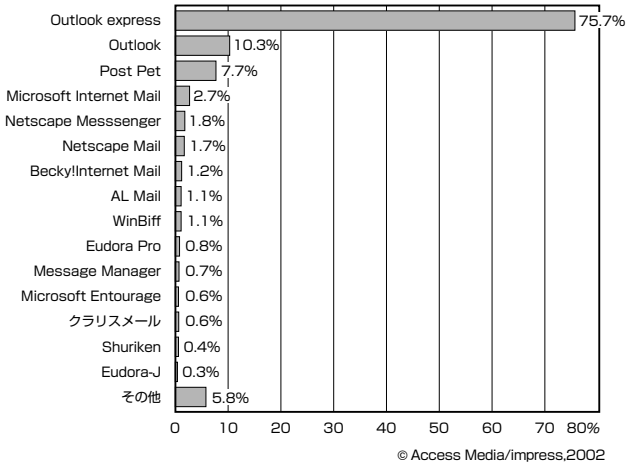
利用ソフト/家庭内LAN　メールの4年連続1位Outlook Express

ブロードバンド&ナローバンド

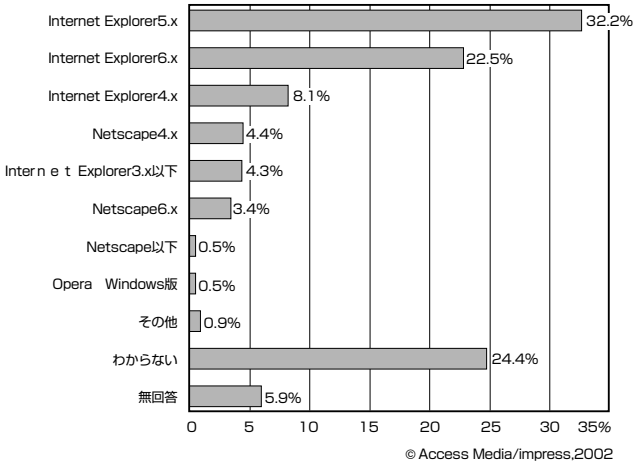
資料1-2-73 メールソフトの利用有無 N=1,541



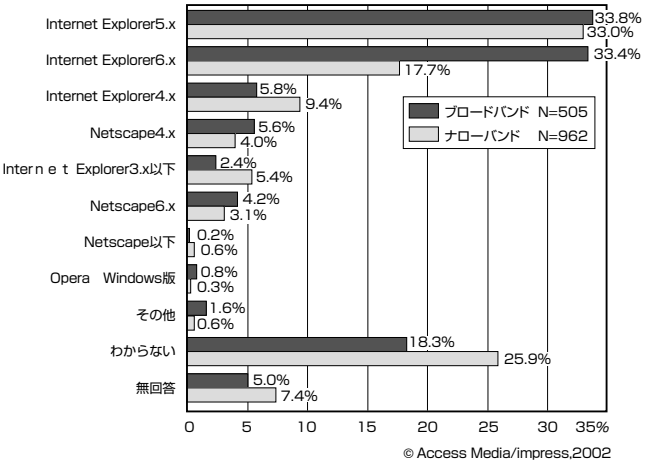
資料1-2-74 利用メールソフト N=1,261



資料1-2-75 利用ブラウザー N=1,514



資料1-2-76 ブロードバンド/ナローバンド別 利用ブラウザー



解　説

■利用ソフト/家庭内LAN

例年聞いているメールソフトに関してはインターネット利用者の83.3%が利用していると回答しており、電子メールの普及ぶりを裏付けている。利用メールソフトは無償の「Outlook Express」が4年連続で最も多く（75.7%）、2000年は58.8%、2001年は68.3%、今年は75.7%と着実にシェアを獲得した。2位以下との差は大きく、いずれも軒並み数値を下げ、その分を「Outlook Express」が獲得したという構図も昨年同様である。自分でインストールやダウンロードする手間がかからない強みが大きい。

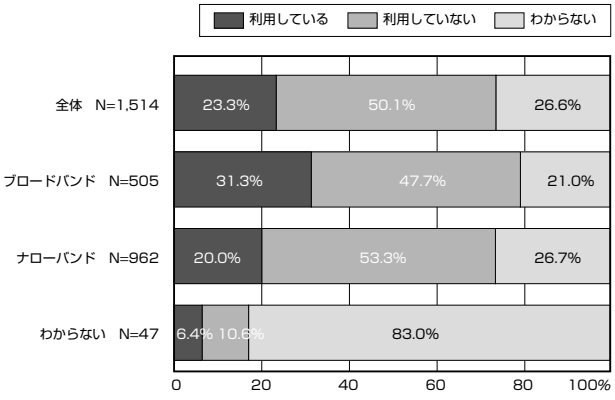
利用しているブラウザーを複数回答で挙げてもらったのが資料1-2-75である。1位、2位、3位はいずれもマイクロソフト社の「Internet Explorer」で3者合わせると67.0%を占める。複数回答なので、昨年の68.3%と比較するとほとんど増加していないようにみえるが、実際はブラウザーの併用率自体が減少していることから、実質的な利用シェアは拡大したといえる。これをブロードバンド/ナローバンド別にみたのが資料1-2-76である。ブロードバンド利用者は相対的に「Internet Explorer」にしても「Netsccape」にしても新しいバージョンを利用している比率が高い。また、インターネット利用者の拡大にともない、ブラウザーのブランドを意識していないとみられる「わからない」回答者が増加する中、ブロードバンド利用者では比較的その比率が低い。

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

P2Pソフトの利用率は1割未満

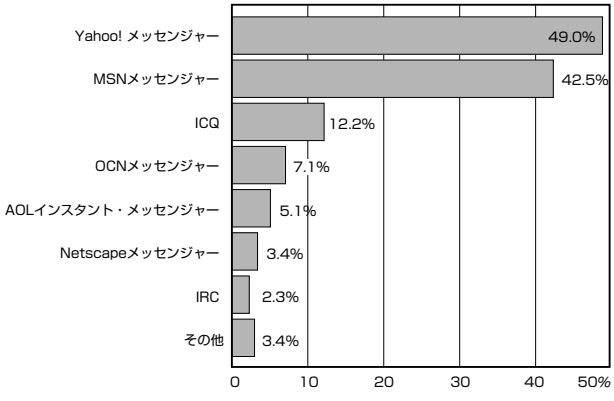
ブロードバンド&ナローバンド

資料1-2-77　ブロードバンド/ナローバンド別 チャットソフト（インスタントメッセンジャー）の利用有無



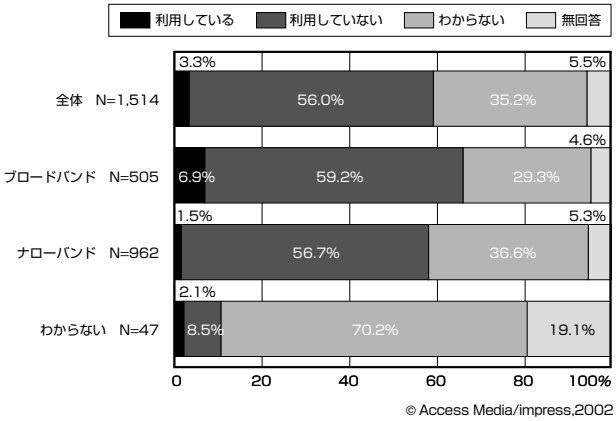
© Access Media/impress,2002

資料1-2-78　利用しているチャットソフト（インスタントメッセンジャー）N=353



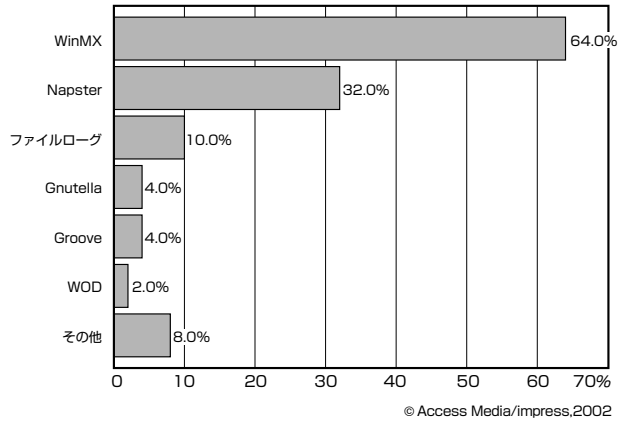
© Access Media/impress,2002

資料1-2-79　ブロードバンド/ナローバンド別 ファイルシェアリング（P2P）ソフトの利用有無



© Access Media/impress,2002

資料1-2-80　利用しているファイルシェアリング（P2P）ソフト N=50



© Access Media/impress,2002

解　説

チャットソフト（インスタントメッセンジャー）とは同じソフトを持つ仲間とオンラインで（相手がオンラインであるかどうかを確認し）リアルタイムにチャットやファイル転送などができるソフトである。インターネット利用者全体の約2割がチャットソフト（インスタントメッセージ）を利用している。これを性別、年代別でみると、やや男性が多く、10代、20代の若年層で利用率が高い点が特徴となっている。これをブロードバンド/ナローバンド別にみたのが資料1-2-77である。ここでもブロードバンド利用者がナローバンドに比べて利用率が高い。

利用しているチャットソフト（インスタントメッセンジャー）は「Yahoo!メッセンジャー」が49.0％、「MSNメッセンジャー」が42.5％を占め、2大ポータルサイトのメッセンジャーでほぼ2分されている。併用率は1人当たり1.25である。

また、ファイルシェアリング関連のP2P（ピアトゥーピア）ソフトウェア（サーバーを介さず、データ交換ができる技術支援ソフト）の利用については3.3％と利用率は低く、ブロードバンド利用者でも6.9％に留まっている。具体的なソフトウェアとしては「Napster」や「WinMX」が挙げられているが、音楽コンテンツの著作権侵害問題に発展した経緯もあり、現状では浸透していない。

（矢野さよみ　アクセス メディア インターナショナル株式会社）

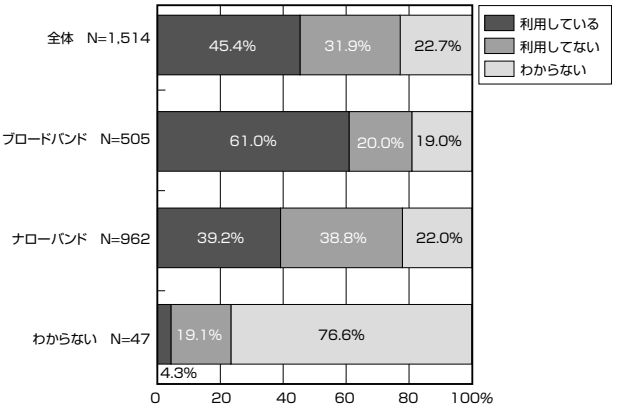
インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

第2章 パソコン利用者

利用ソフト/家庭内LAN　RealとWindowsが拮抗する音声動画視聴

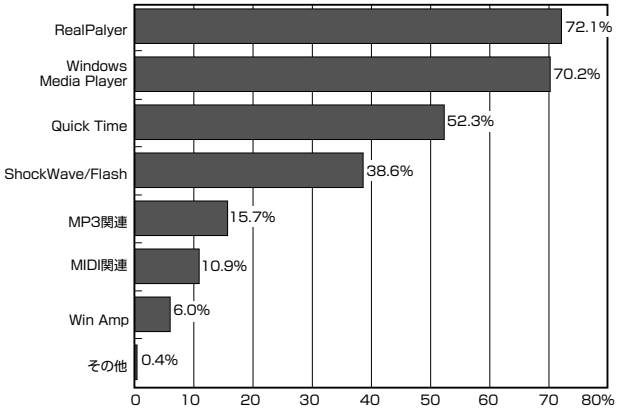
ブロードバンド&ナローバンド

資料1-2-81 ブロードバンド/ナローバンド別 音声動画視聴ソフトの利用有無



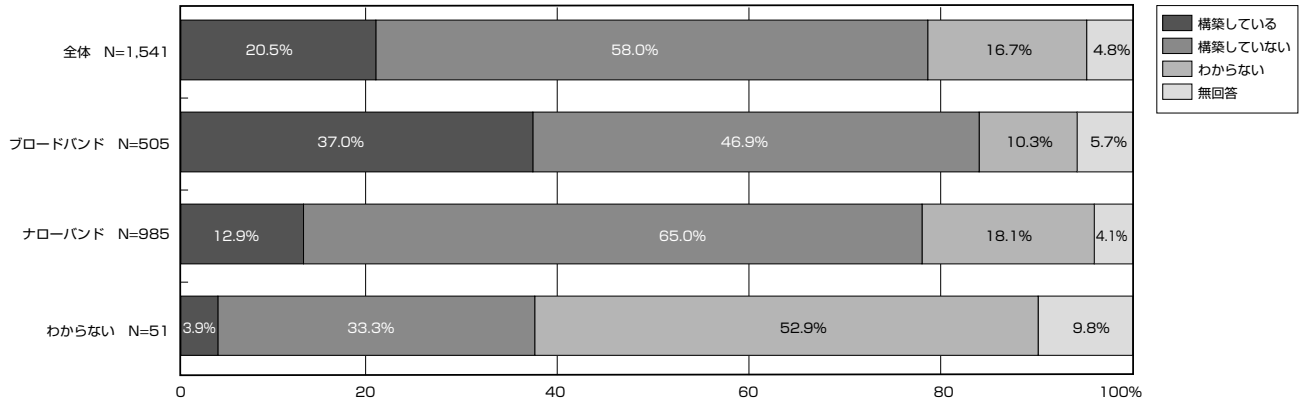
© Access Media/Impress,2002

資料1-2-82 利用している音声動画視聴ソフト N=687



© Access Media/Impress,2002

資料1-2-83 ブロードバンド/ナローバンド別 家庭内LAN構築の有無



© Access Media/Impress,2002

解　説

音声動画視聴ソフトの利用有無をブロードバンド/ナローバンド別に聞いたのが資料1-2-81である。全体でも45.4％と利用率は高く、特に10代、20代では6割を超えている。これはコンテンツ視聴ページから対応ソフトの入手先にリンクが張ってあり、手軽にウェブサイトからダウンロードできるためと考えられる。当然ながらブロードバンド利用者の利用率は高く6割を超えている。利用している音声動画視聴ソフトは複数回答で上位の「RealPlayer」（72.1％）と「Windows Media Player」（70.2％）の2ブランドが拮抗している。また、現在の併用率は1人当たり2.66である。

今年は本調査の対象表である主に自宅のパソコンからインターネットを利用している対象者に初めて家庭内LANについて聞いている。利用者全体では約2割が家庭内LANをすでに「構築している」。ブロードバンド利用者では特に構築率が高く、37.0％にも上る。普及状況でみたように、同一世帯内のインターネット利用者が増加していることに加えて、ブロードバンド利用により回線のパフォーマンスが上がったことが家庭内LAN構築との相関関係を強めているとみられる。今後もブロードバンド利用が拡大するとともに、家庭内LANの構築も比例して拡大すると予測される。

■満足度と課題

インターネットの満足度（資料1-2-84）を100点満点で評価してもらったところ、

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

Internet White Paper ARCHIVES
インターネット白書
ARCHIVES
1996,1997,1998,1999,2000

［インターネット白書ARCHIVES］ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先 | 株式会社インプレスR&D | ✉ iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.